

ふるさとの昔 20 少年団

少年団の多くは、日本の各地域に古くからあった子ども組をもとにし、昭和初期には文部省の奨励を受けて学校少年団になりました。現在でいえば小・中学生の子どもたちが団員です。学校の教員、父兄、地域の篤志家などが中心となり、子どもの校外生活を指導し、心身をきたえ、学校教育を補う場とも、社会教育の場ともなりました。

各地区の少年団は、毎朝集まって整列して登校しました。団旗を戴いて登校する団もありました。各団は団長を定め、年長の子どもが年少の子どもの世話をしました。休日には神社の清掃など地域奉仕の活動も行いました。

戦争が近づくと、国家的、神道的な行事に参加することも多くなり、日本軍の戦勝祈願をこめて神社を参拝しました。高学年の団員が集まり、休日一日をかけて、自転車で岐阜市までの道の傍らにあった百か所の神社や祠を参拝したこともあります。



昭和9年 団旗を戴く勝山少年団



さかほぎやう!
パーソナリティ: 小栗かおる
毎月第三火曜日
18時~18時20分

次回のゲストは、企画課 松林さんです。お楽しみに！

#ふるさと納税

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。
FMららアプリダウンロードはこちらから。

App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう



広報文芸

町民俳句

文化協会さかはふり俳句会

動き凜凜し女性庭師の草じらみ

恩田 いせ子

赤とんぼとまりてさみし眼がうごく

恩田 いせ子

畦道の天につき突く曼殊沙華

小関 美砂子

青紫深くりんどう日和かな

伊藤 文

色鳥のなにやら言ふて飛び去りぬ

伊藤 文

ひとり居に門限はなし虫の夜

伊藤 文

曼殊沙華背丈そろへて密集す

伊藤 文

菊日和住みよき季は足早に

伊藤 文

草虱人の気配を知る早さ

伊藤 文

12月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。

不燃ごみ収集日 9日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。
金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼つて出してください。

資源物収集日 21日(日)

時 間: 8時~10時
場 所: 町内各自治会公民館
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池

町リサイクルステーションの収集日

場所: 旧町民ふれあいプール駐車場

古紙・古着

毎日9:00~17:00

その他リサイクル資源

毎週日曜日・水曜日9:00~15:00



詳細はコチラから